

川崎市地域包括ケアシステム 推進ビジョン

川崎市では、地域包括ケアシステムの構築に向けて、川崎市の特徴に合わせた基本的な考え方を地域全体で共有するために「地域包括ケアシステム推進ビジョン」を平成27年3月に策定しました。

推進ビジョンでは、次の**5つの視点**を設け、それぞれの視点ごとに取組を推進していくことが重要としています。



【基本理念】

川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築による
誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して
暮らし続けることができる地域の実現

視点1

「意識の醸成と参加・活動の促進」

～地域における「ケア」への理解の共有とセルフケア意識の醸成～



↑川崎市地域包括ケアシステム講演会

地域包括ケアシステムについて、広く知っていただくため講演会を開催しています。例えば平成29年度は、子ども、障害者、高齢者の分野で地域活動をしている方を招いてパネルディスカッションも実施し、地域の活動について発表がありました。

→小学生向け副読本「ふれあい」

各学校の教育課程に応じて福祉の副読本として使われています。

川崎市の子ども、障害者、高齢者などの福祉の内容や「地域包括ケアシステム」などの普及啓発などを行っています。



視点2

「住まいと住まい方」

～安心して暮らせる「住まいと住まい方」の実現～



↑「住まいの支援」川崎市居住支援協議会

行政、不動産関係団体、居住支援団体等の多様な主体が連携し、民間賃貸住宅への入居などの総合的な居住支援を行っています。

↓「住まい方の支援」子育てサロンや地域交流

安心して暮らし続けるには、「住まい」だけではなく「誰とどのように生活していくか」も大変重要です。多世代の交流や親子で参加するサロンなど、様々な地域交流で、日ごろから顔の見える関係づくりを行っています。

